

議事概要記録

開催日時	令和4年1月16日(土) 13:00~15:00	開催場所	Zoom Web形式
会議種別	令和3年度 第4回理事会	議長	久保 光史
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	参加：田中 規仁、神藤 洋次、田原 靖子、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史、 山本 須美子、中尾 光孝、葛原 和紀、森下 陽子、大前 嘉良、 森井 眞治、藺田 豊、脇村 小津江 大石 博晃、竹中 正人 計 16名		
欠席者 <敬称略>	秋田 豊和、谷本 智	オブザーバー	
次第			
議事概要	報告事項 1. 会長報告 2. 令和3年度第4回・5回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ 会誌編集 ⑥ ホームページ ⑦ 会報 ⑧ 月例行事予定表 7. 連盟 8. 第41回和歌山県医学検査学会 9. その他 審議事項 ・令和4年度予算案 ・日当支払い条件について ・総会議決権行使書書式変更について ・次年度勉強会参加費無料化について ・精度管理報告会の生涯教育点数付与条件について		

	<p>・日臨技との災害協定書締結について</p>
<p>決議事項 及び 継続事項</p>	<p>開催にあたり田中会長より挨拶。 コロナ流行の再拡大を受け、対面開催を予定していたが止む無く web 会議へ変更とさせて頂きました。役員の皆様引き続きご協力の程よろしくお願い致します。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>1. 会長報告 日臨技・近畿支部・和臨技関連について以下のとおり報告あり。</p> <p>日臨技関係</p> <p>10 月31 日 厚生労働省指定講習会（タスク） Web 11 月22 日 近畿支部幹事会 Web 11 月23 日 日臨技理事会 Web 11 月25 日 日臨技「災害対策支援規程」等及び当該規程に基づく 都道府県技師会との協定締結のための説明会 Web 12 月5 日 日臨技認定試験監督 Web</p> <p>和臨技関係</p> <p>10 月8 日 令和3年度保健衛生（医事）功労者知事感謝状贈呈式 アバローム紀の国</p> <p>11 月17 日 臨時所属長・技師長会議 Web 11 月24 日 臨時所属長・技師長会議 Web 11 月27 日 臨時所属長・技師長会議 Web</p> <p>渉外関係</p> <p>11 月23 日 第26 回和歌山県病院協会学術大会 アバローム紀の国 1 月8 日 令和3年度 病院協会新春研修会 アバローム紀の国</p> <p>その他（詳細は別紙資料参照）</p> <p>●日臨技無料職業紹介所の存続・廃止の検討 ・昭和44年より開設の日臨技無料職業紹介所であるが、近年のインターネット等での求人広告や都道府県技師会 HP での求人情報の普及により利用者が減少している現状があり、今回存続・廃止の検討がなされた →最終、廃止が決定</p> <p>●日臨技 2022 年度の共済制度について ・感染症罹患共済金制度の内容変更 →新型コロナウイルス濃厚接触での自宅待機などにも対応 ・普通傷害共済制度の損害率による割引について</p> <p>●日臨技災害対策支援規程に基づく「災害時支援協定書」について ・協定の趣旨</p>

当会は、被災地域にある都道府県技師会等の活動を支援するため災害対策支援規程を制定し、各都道府県技師会に当会の支援内容を理解していただき、実効性を持たせるため当該規程第4条第1項に基づき各都道府県技師会と協定書を締結するものである。

→審議事項にて、協定締結に関する審議を行う

●日臨技表彰規程改定について

主な改定点

- ・永年職務奨励賞の表彰要件を改定
- ・支部学術奨励賞、日臨技特別賞、日臨技学術奨励賞の推薦者、推薦手続きを改定
- ・日臨技貢献賞（個人、法人）を新設
- ・その他、実務上の手続き明確化

2. 令和3年度第4回・5回常務理事会報告

詳細は別紙議事録参照

- ・次年度予算および日当支払い条件については、審議事項にて審議

3. 事務局報告

11月11日 令和3年度【臨時】施設責任者会議の開催について

11月17日（水）、24日（水）、27日（土） Web開催

和臨技

12月7日 令和3年度和歌山県知事表彰候補者推薦について（辞退）

和歌山県

12月10日 日本医療マネジメント学会

第16回和歌山支部学術集会後援名義について

日本医療マネジメント学会第16回和歌山支部

12月14日 令和3年度医療従事者功労者賞決定通知

被贈呈者：田中 規仁 会長

和歌山県

12月24日 令和4年度都道府県技師会との関連事業（予定）について

日臨技

12月24日 令和3年度「地域ニューリーダー育成講習会（第7回）」

実施について

日臨技

12月25日 和臨技次期役員候補受付について

和臨技

1月4日 令和3年度和歌山県災害医療従事者研修の実施について

和歌山県

1月7日 第61回近畿公衆衛生学会演題募集について

和歌山県

以上について報告。

大前理事より、役員立候補届提出についてご質問頂く

→立候補届については書面にて事務局へ提出で対応

田中会長より役員立候補届について補足

→当初、本理事会が対面開催されていたれば、この場で各ブロック別で役員立候補に関する相談を予定していたが、Web開催となってしまったので、できれば各ブロック理事同士にて情報共有の上、立候補について対応頂きたい

令和3年度和歌山県災害医療従事者研修について

→田中会長より、和歌山県災害医療対策本部へ技師会としても参加しているため、大前災害対策委員長はもとより率先して理事の皆様参加をお願いします。

→竹中監事より、平日での研修なので業務都合はあるかと思いますが、積極的な参加をお願いします。

4. 学術部報告

●2022年度学術部班長班員決定報告

提出資料修正点あり

輸血精度管理担当が変更

→日本赤十字社和歌山医療センター川野技師から新宮市立医療センター葛原技師へ

●第71回日本医学検査学会 一般演題査読委員の推薦について

生理、病理（組織・細胞）、微生物、血液、一般、化学免疫、輸血、遺伝子、管理の各部門1名の査読委員の推薦依頼あり。

学術班に遺伝子班がないため、遺伝子以外の部門に対して下記の委員を推薦。

生理	松下 裕	和歌山県立医科大学附属病院
病理 (組織・細胞)	奥村寿崇	日本赤十字社和歌山医療センター
微生物	口広智一	公立那賀病院
血液	小山 明日美	紀南病院
一般	林 健太	和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院
化学免疫	和田 哲	和歌山県立医科大学附属病院
輸血	富坂竜矢	和歌山県立医科大学附属病院 輸血部
管理	亀井 聡	くしもと町立病院

5. 経理部報告

令和4年度予算案合計について報告

・昨年度との相違点は役員・班員などへの日当支払い条件変更案を盛り込んでいる点、災害ボランティアの講師料予算増

・タスクシフト、臨地実習講習会に関しては日臨技事業のため予算計上からは割愛

・一泊合同研修会を計上、Web準備委員会は事業完了として計上なし

年度末に向けて、各事業の会計締め提出をお願いします。

6. 各種委員会報告

① 公益事業活動

臨地実習指導者講習会プログラム（中央講習会）参加について葛原理事より報告
今後の開催は支部単位で開催の予定。近畿支部での**第1回開催は2月27日（日）**で決定。

・会長より補足説明

→既に各施設技師長宛に参加申し込み案内が郵送されている。ただ、今回の開催日時が和歌山学会の日程と重複しているので和歌山県の参加が厳しいと考えている。今後の研修開催実務委員として、葛原理事が担当頂く。

・神藤副会長より質問

→現在の研修参加が各施設1名限定になっているが、施設1名では厳しいと考える。この点は今後変更になるか？また、開催回数は年1回なのか、今後回数は増えるのか？

→葛原理事より回答 実務委員説明の中では最低1名できれば2名を確保と聞いている。現状研修会開催回数については、日臨技からは年度内1回と聞いている。

② 定款・渉外

日当支払い条件について（現行：4時間以上3,000円→変更：2時間以上4時間未満1,500円、4時間以上3,000円）→理事への支払いに加え、學術班員での勉強会実務委員2名について500円免除となっている分についても2名1,500円支払いに変更の予定。

この案件に関して、理事監事皆様のご意見を頂きたい。

現在の予算の中で、約25万円固定費として増額が見込まれる。

最終審議事項にて審議

③ 災害対策委員会

大前理事より報告

・和歌山県北部で震度5弱の地震発生についての会員調査

会長指示にて紀中地区の被災状況を調査。

紀中地区14会員施設について実施。

調査期間：2021年12月3日（調査開始）～12月7日（最終連絡受取日）

・有田市立病院 エレベーター停止

・北裏病院 午前中の2時間ほどエレベーターが使えなかった

との報告あり。その他の施設は問題なし。

・災害フォーラム

和臨技災害フォーラム2021 12月12日（日）Web開催

（講師）

独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院 中央検査部

三宅 崇登

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 臨床検査室・救急外来・災害対策調整室

太田 麻衣子

参加者数：23名（+実務委員3名）

・日臨技災害対策支援規程および災害時支援協定書の締結について

上記協定に関する説明会に参加

支援内容は、会員の安否確認、業務支援、被災住民等の支援活動に関する事項
平常時の準備としてマニュアル作成および協定の締結を目指す。

締結は災害発生時の被災地へのスムーズな支援要請・支援提供を目指すものである。

→協定書締結については最終審議事項にて審議

④ 精度管理委員会

中尾理事より、精度管理調査に関する進捗報告（詳細は別紙参照）

●調査願い集計について

・30施設に対して合計47通発行。回収率100%であった。

・輸血の調査願いが21通と多く、設問内容も含め輸血班にて確認をお願いしている。

●報告書について

輸血班の報告書に遅れがでている。

1月13日（木）各研究班よりの提出締め切り後編集し、1月21日（金）に理事各位
へメールにて提出させて頂く。査読締め切り 2/3（木）。

→日程の遅れが予想される。

●JAMTQC システム、和臨技 HP への報告書アップロードについて

施設別報告書、全体報告書を2月15日（火）にアップロード予定にて調整中。

和臨技 HP にも同日に全体報告書のアップロード依頼の予定。

●精度管理報告会について

開催日時：令和4年2月26日（土）13:00～16:00

開催様式：web開催。和歌山学会よりウェビナーライセンスを貸与頂き、使用する。
ウェビナーの質疑応答、画面管理担当：公立那賀病院 片山 裕大 技師

8領域、各20分

（各領域内容発表後質疑応答を実施。質疑応答も含め20分とする）

司会：中尾 光孝（精度管理委員長，ひだか病院）

1.はじめに 13:00～13:10 演者：平康 雄大
(精度管理事務局，和歌山県立医科大学附属病院)

2.臨床化学 13:10～13:30 演者：小笠原 志朗
(公立那賀病院)

3.免疫血清 13:30～13:50 演者：前原 純
(橋本市民病院)

4.血液，凝固 13:50～14:10 演者：水谷 陽介
(日本赤十字社和歌山医療センター)

5.輸血 14:10～14:30 演者：川野 友彰
(日本赤十字社和歌山医療センター)

6.一般 14:30～14:50 演者：南方 博至

(和歌山県立医科大学附属病院)

7.微生物 14:50～15:10 演者：中松 純一

(済生会和歌山病院)

8.生理 15:10～15:30 演者：湯川 有加

(日本赤十字社和歌山医療センター)

9.病理, 細胞診 15:30～15:50 演者：奥村 寿崇

(日本赤十字社和歌山医療センター)

10.総評 15:50～16:00 演者：中尾 光孝

(精度管理委員長, ひだか病院)

●次年度以降の方向性について

1.定量系（生化学、血液、一般）：SDI 評価母集団数の問題

和歌山県では精度管理調査事業参加施設が少ないことにより、集計の関係上、正当な評価が難しい施設が一定数出てしまうという問題が発生したため、定量部門間での意識の擦り合わせならびに、次年度対策会議を11月19日 webにて開催。一般検査においては、議事内で結論が得られなかったため、事後個別案件として協議し、和臨技サーベイにおいては尿定量項目の実施は不可との結論に至った。

2.フォト系：設問設定の問題（評価対象 or 対象外）

原則出題したものについては全て評価する（チャレンジ問題は除くが、目的意識はしっかりもってチャレンジ問題とする）という方向で進める。

調査願いは、各班の設問に対する考え方を尊重し、発行基準については各班に委ねる。

評価については、原則正解率80%をもって評価対象から除外する。80%未満の正解率を得られない設問でも「評価する」場合は、その理由を明確化することを義務とする。ただし、微生物、病理についてはもともとN数が少ない和歌山という土地柄に加え、エントリー施設（自施設実施施設）数が少ない領域ということもあり、その理由に確固たるエビデンスを持ってない場合がある。これはN数における限界であり、精度管理報告会での真摯な議論によって各参加施設は結論を得て頂きたい。

<和臨技サーベイの在り方・方向性について>

「各領域で、県内施設がどこまで理解しているか？どこから理解していないのか？を見出す」ことを目的とする。そして得られた結果から、「どのような内容でどのレベルの勉強会を次年度やるべきか？」という点を各領域でご検討いただき、適宜勉強会を企画開催する事で参加施設のフォローアップをしていく。

精度管理報告会の日臨技生涯教育点数付与条件について

Web開催について、日臨技生涯教育点数付与条件について検討した。各領域20分を予定しているため、ログイン時間が20分以上の会員に対して履修とする（最低1領域を聴講）案を提案する。

→最終審議事項にて審議

・神藤副会長より質問

メーカーに参考値測定をするとのことであるが、何社ぐらいを予定しているのか？
その際の依頼文書はどうなるのか？

→臨床化学 6 社、CBC2 社、凝固 3 社を予定している。

依頼に関しては既に従来免疫血清でも実施している、臨薬協のルールに基づいた依頼状発行で予定している。

・田中会長より質問

輸血班の進捗が遅れている詳細は

→設問に対する評価基準の設定に根本的に問題があるのではと感じている。

昨年までは評価を行っていなかったが、今年度から評価を出すことになったことになったことで、従来の報告書内容では不十分な部分がでてきていると考える。

→一般定量項目の評価については、検査法原理別での評価で対応できないか？

→他の定量項目（臨床化学、凝固）評価基準との足並みが揃わない部分があること、検査法原理別での差がある項目を一括評価する意義に疑問をもっているため、今回廃止の選択となった。

⑤ 会誌編集

森井理事より今年度会誌掲載内容について報告

・論文投稿 2 編

01_目視鏡検により診断に至った T 細胞大顆粒リンパ球性白血病の 1 例
和歌山県立医科大学附属病院 箕浦直人

02_災害時における当院生理検査の取り組み
日本赤十字社和歌山医療センター 竹中美賀子

・事例報告投稿 4 編

01_TAVI における検査技師の関わり
日本赤十字社和歌山医療センター 星田智子

02_令和 3 年度和臨技オリエンテーションに参加して
和歌山県立医科大学附属病院 坂本紘太

03_令和 3 年度和臨技オリエンテーションに参加して
和歌山県立医科大学附属病院 荻野みなみ

04_令和 3 年度和臨技オリエンテーションに参加して
和歌山県立医科大学附属病院 齋木恭

・広告掲載 27 社

会長より

昨年は和歌山学会が開催できなかった為、論文投稿が少ない結果となった。次年度の会誌への論文投稿増に皆様ご協力をお願いします。

⑥ ホームページ

特記事項なし

⑦ 会報

担当理事欠席にて報告なし

⑧ 月例行事予定表

特記事項なし

輸送に関する件にて、クロネコヤマトのメール便手続きが未だに完了されていない状況であると報告あり。

→再度手続きの確認を行う。

7. 連盟

脇村連盟支部長より報告

●活動報告

10月6日 衆議院選挙 和歌山第1区 門博文事務所へ推薦状を持参

20:00-20:30 zoom会議 菌田 平松 八嶋 脇村

10月13日 野上厚生、海南医療センター 訪問 連盟の紹介 平松 脇村

10月20日 18:30 近畿ブロック zoom会議 平松 脇村出席

10月21日 20:00-20:30 zoom会議 近畿ブロック長 小澤さん出席

10月23日 衆議院選挙 和歌山第2区 石田敏史事務所へ推薦状を持参

八嶋 脇村

11月18日 20:00-20:30 zoom会議 菌田 平松 八嶋 脇村

●昨年度 連盟会員数

秋口 12名増えて 60人 60口 (昨年 79人 81口)

<協力委員を集める件>

協力委員は役員ではないので、公務員でも可能

各施設の連絡責任者に連絡の中心になってもらいたい

グループの中心になって広報を手伝ってもら

後援会情報 勉強会 懇談会の案内など

連盟のグループ Line ができました 友達追加をすすめる

情報発信に使う 集会や交流が進められない中では重要です

鍵は「選挙に足を運んで投票してもらうこと」しかない

和歌山学会での宮島会長のビデオメッセージを依頼している。

また勉強会の合間に使える短時間の動画作成を予定している。

8. 第41回和歌山県医学検査学会

丸澤実行委員長より報告

会場：橋本市産業文化会館「アザレア」

会期：令和4年2月27日（日）（前日2月26日和臨技事業用にも予約済み）

形式：ハイブリッド開催の予定

→近日中に、開催案内を各施設に発送の予定。

その中で、参加方法や発表形式が従来と異なるためご注意ください。

***事前参加登録が必須（パスマーケットにて）**

事前参加登録期間 1月17日（月）～2月20日（日）

以上で学会準備を進めていたが1月14日（金）秋田学会長より、新型コロナウイルス感染対策の観点から1月18日から2月末まで橋本市内の施設臨時閉館が決定したとの報告あり。

現状、開催方法の変更を検討している。

（急遽会場変更、完全 Web 形式、紙面による開催、学会中止も含めて検討中）

次期の学会開催地域は紀南南地区でよろしかったか？

→その予定である。

和歌山学会での宮島会長のビデオメッセージの進捗は？

→脇村支部長より確認を行う。

中尾理事より

・事前登録がなければ参加できない形式か？

→パスマーケット登録後参加 URL 付与の予定であるためそうなります。

・施設により PC 端末1台を複数人で聴講する場合も各自事前参加登録必要か？

→基本そのルールにて行って頂きたい。生涯教育登録についても、事前登録方のみ学会側で申請の予定である。

神藤副会長より

・今回の参加者は全員 Web か？ハイブリッドと Web 開催の違いはあるのか？

→ハイブリッドであれば座長や縁者が会場に参加して頂く事により、学会進行がスムーズであると考えていたが、今回会場使用が禁止になったので完全 Web へ移行せざるを得ないとするが進行部分に不安が残るのが現状である。

田中会長より

・会場使用が困難になった以上、ハイブリッド開催は中止として完全 Web である旨の案内がひつようか？

→ 秋田学会長と共にそのように考えているが、なにぶん会場使用中止の連絡が昨日のことであるため、改めて報告させて頂きたい。

審議事項

●令和4年度予算案・日当支払い条件・次年度勉強会参加費無料化について

大石監事から、日当支払い条件を変更することにより予算額が約25万円増となることについて、現在はコロナ禍で事業が中止している状況なので、充分資金はあると思うが、コロナ以前の繰越金（令和元年度）から判断した場合でも、資金繰り出来るのかを確認したい。

→予算書の資料を確認。次期繰越金を再度確認したところ、約25万円の予算増は見込める状況であるので問題ないとする。

→以上確認の上、全員一致で了承頂く。

追加審議、令和4年度の勉強会参加費について無償対応についても了承頂く。

●精度管理報告会の日臨技生涯教育点数付与条件について

Web開催について、日臨技生涯教育点数付与条件について検討した。各領域20分を予定しているため、ログイン時間が20分以上の会員に対して履修とする（最低1領域を聴講）案を提案する。

田中会長より、20分の把握、参加管理は可能でしょうか？

→Zoomの機能を用いて各参加者のログイン・ログアウト記録が抽出できるため確認が可能である。

→以上確認の上、全員一致で了承頂く。

●総会議決権行使書書式変更について

昨年総会議決権行使書回収の際に、会員より行使書発送の際の費用負担が会員負担であるが、この費用は技師会負担で対応できないかのご意見あり。

そのため、官製ハガキ型の議決権行使書に変更を検討。

神藤副会長より、議案数が増えた場合文字数が増える可能性があるが大丈夫でしょうか？改選時期では議案数が増えることが予想される

（約2～3議案増は予想される）フォントを小さくするなど工夫は可能。

記入内容で住所などが必ずしも必要でなければ割愛しても良いのでは。

→以上確認の上、官製ハガキへの変更について全員一致で了承頂く。

記載内容の割愛などについては、総会条件も確認の上、準備をすすめる。

●医療関連サービス振興会担当者の変更について

（衛生検査所・地区委員会調査指導員選考）

現在の担当久保事務局長から中尾精度管理委員長へ変更について

→中尾精度管理委員長にご快諾頂く。

●Web研修準備委員会の解散について

Web研修の準備について一定の手順等が整備できたため、今年度での解散をご了承頂きたい。今後の運営管理はすべて学術部で対応頂く。

→以上確認の上、全員一致で了承頂く。

	<p>●日臨技との災害協定書締結について →以上確認の上、全員一致で了承頂く。</p>				
記録作成	令和4年1月23日	氏名	久保 光史	提出	令和4年1月23日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可